

公開シンポジウム

「第1回理論応用力学シンポジウム」

～自然災害に関する力学研究の動向と課題～

主催：日本学術会議（機械工学委員会，土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会）

共催：日本レオロジー学会他

日時：2014年3月17日（月）13:00～17:00

場所：日本学術会議講堂

参加料：無料（事前申し込み不要）

プログラム：

開会の挨拶 13:00-13:15

岸本喜久雄（日本学術会議会員，機械工学委員会委員長，IUTAM 分科会委員長）

1. 「東北沖地震と南海トラフ地震：力学的に見た類似点と相違点」 13:20-14:10

松浦充宏（東京大学名誉教授，統計数理研究所）

2. 「土砂崩れ発生の力学的メカニズム—流体による粒状体の流動化」 14:15-15:05

佐野理（東京農工大学）

3. 「気象・気候変動予測シミュレーションにおける力学」 15:10-16:00

高橋桂子（独立行政法人海洋研究開発機構，日本学術会議連携会員）

4. 総合討論 16:10-16:50

閉会の挨拶 16:50-17:00

和田 章（日本学術会議会員，土木工学・建築学委員会委員長）

問合せ先：岸本喜久雄（東京工業大学理工学研究科機械理工学専攻）

TEL:03-5734-3101

E-mail:kkishimo●mep.titech.ac.jp

※●を@にかえてください。